

淡輪ヨットクラブ7月ポイントレース

運営関係者のメモ

7月17日(日) 曇り後、快晴 海燕チーム担当

梅雨の中、早朝は小雨が降っていたが、快晴で日差しが強い一日でした。

レースには、7艇参加。運営は、モーターボート(プチスター??) 1隻。

マークブイは、2個使用。大きなブイ・アンカー・長いロープ・シンカーなどの設置・回収、信号旗のセット・上げ下げなど作業は大変でした。海燕では、いつも、ビール焼酎が大量に消費されるが、この日の消費量は少なかったと思う。

まず、スタートマークを設置。今日は、スタート業務終了後に移動しマークを打つことにした。スタート海面で、セーリングしている艇が多いとレース時の走りがわかるが、出艇数が少ないと情報不足である。風弱く、強い南流であった。この潮は、レース中も強く流れていたようである。

09:45 微風で350° さらに10:00前には50° ~70° 10:10 50° の風向でスタートラインをセット。風は不安定であった。スタートラインが落ち着かないので、10:25 スタート延期。10:34 回答旗降下し、10:40 50° スタート 遅れた艇がいたため、本部艇はスタート後すぐにはラインから離れられなかった。アンカーをあげ終わったときには、艇団は左右に大きく分かれてトップ艇はずいぶん遠くに行ってしまった。風向は、大きく変わっていた。スタート時に本部船近くにいた艇には、口頭で50° と伝えたが、徹底できていなかった。さらに、艇長会議では「風上にマークを打つ」との説明をしたとのこともあり、全艇に不利にならないような位置にマークを打つことは無理と判断し「N旗」をあげて中止とした。(マークは風上風下となっていないが、各艇に知らせた情報が不公平と判断)全艇戻ったので、11:45 弱風240° 再スタート。全艇送り出してから、大急ぎでアンカーあげて、マーク設置に向かう。全艇の先頭より更に風上に走って、大急ぎでマーク設置。本当は、もっと短いレグにセットしたかったが、これが精一杯。回航をチェック。強い潮に押されていたのか、ここまでの対地艇速は早い。マーク回航後、風下への走りは、逆潮なのか遅い。最後尾艇は、2レグ(1周)を1時間ぐらいかかっていた。トップ艇との時間差も考慮し、タイムリミット内でフィニッシュできるように、コース短縮準備。風の吹き上がりもなさそうなので3レグでコース短縮、フィニッシュとした。

結果、IRCクラスでは、流星、オープンクラスでは、キラキラの優勝となった。

シャワーをあびて、冷たいビールを飲んで、楽しい表彰式でした。

